

## 北海道情報大学における卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

主体性を持った高度 IT プロフェッショナルの育成を目標として、以下のコンピテンシー（知識・スキル・心構え）を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に対して学位を授与します。

- ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
- ② IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
- ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性
- ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力
- ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
- ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵

## 経営情報学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学部では、社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用に必要とされる情報処理の知識・技術及びデジタルビジネス時代における経営に関する知識・技能を修得し、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた、高い志を有する人材を育成します。

## 経営情報学部 先端経営学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 1. 育成すべき人材像とコンピテンシー

情報化社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに、IoT などのデジタル技術を活用するデジタルビジネスによって新たな価値を創造できる能力を備える人材を育成します。

- ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
  - ・生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材。
- ② IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
  - ・IT 社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を解決し、豊かな社会の実現に寄与する人材。
- ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性
  - ・異文化を理解し、国際感覚に優れた人材。
- ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力
  - ・市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材。
  - ・多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出す人材。
- ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
  - ・IoT などの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなど幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材。
- ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵
  - ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材。
  - ・情報化社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

育成すべき人材像とコンピテンシーを別表 1、及び別表 2 に示します。

### 2. 卒業要件（以下の①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること）

履修科目		履修単位数
①	基礎教育科目	次の要件を満たし、計 22 単位以上を修得 教養基礎科目について ・必修科目 8 単位を修得 ・「基礎数学 A」又は「基礎数学 B」のいずれか 2 単位を修得 外国語科目について ・必修科目 6 単位を修得 ・選択科目 6 単位以上を修得 ただし ・英語の選択科目 4 単位以上を修得

②	人間教育科目	次の要件を満たし、計 24 単位以上を修得 ・必修科目 9 単位を修得 ・選択科目 15 単位以上を修得 ただし ・「人間」「社会」「自然」の 3 分野からそれぞれ 1 科目以上修得
③	専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位以上を修得 ・必修科目 24 単位を修得 ・選択科目 54 単位を修得

### 3. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、定められたコンピテンシーを身に付け、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（経営情報学）」を授与します。

別表1 先端経営学科 デジタルビジネス専攻 人材像とコンピテンシー(共通教育)

学科名	共通教育科目
①人材像	
(a)	物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材
(b)	情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材
(c)	異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材
(d)	市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材
②コンピテンシー	
A	学問の方法と論理的思考力を身に付け、問題解決に生かすことができる。
B	得られた情報を批判的に分析し、自己の考えを構築・表現することができる。
C	人類の歴史や文化の多様性を認め、その担い手としての自覚をもつことができる。
D	様々な意見をもつ人々とのコミュニケーションの重要性を自覚し、社会活動への展望をもつことができる。

別表2 先端経営学科 デジタルビジネス専攻 人材像とコンピテンシー(専門教育)

デジタルビジネス専攻 IT経営コース	
①人材像	
(a)	生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材
(b)	多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出す人材
(c)	IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を解決し、豊かな社会の実現に寄与する人材
②コンピテンシー	
A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
C	経営の専門知識と情報技術を活かして、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる
デジタルビジネス専攻 起業家育成コース	
①人材像	
(a)	生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材
(b)	多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出す人材
(d)	IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなど幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材
②コンピテンシー	
A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
D	経営の専門知識と情報技術を活用してマーケットの動向を分析し、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる

## 経営情報学部 システム情報学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 1. 育成すべき人材像とコンピテンシー

情報化社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材を育成するとともに、情報化社会で求められているあらゆる分野において利用されるシステムの開発にかかわるソフトウェア技術者、および情報技術に関する知識とスキルを応用して問題解決を図り、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

#### ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・グループで議論や活動ができる人材。

#### ② IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・ネットワーク、セキュリティ、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人材。
- ・人工知能、機械学習、データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人材。
- ・宇宙開発や宇宙情報利用およびそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人材。
- ・情報技術を利活用して社会の各分野で貢献できる人材。
- ・情報や数学において教員として従事できる人材。

#### ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材。

#### ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材。
- ・自分の考えや提案内容をわかりやすく説明できる人材。

#### ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・情報技術を利活用し、専門知識（システムエンジニア、情報科学、宇宙情報に関する知識）を生かして、課題を発見し解決できる人材。

#### ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵

- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

育成すべき人材像とコンピテンシーを別表1、及び別表2に示します。

2. 卒業要件（以下の①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること）

	履修科目	修得単位数
①	基礎教育科目	次の要件を満たし、計 22 単位以上を修得 教養基礎科目について ・必修科目 8 単位を修得 ・「基礎数学 A」又は「基礎数学 B」のいずれか 2 単位を修得 外国語科目について ・必修科目 6 単位を修得 ・選択科目 6 単位以上を修得 ただし ・英語の選択科目 4 単位以上を修得
②	人間教育科目	次の要件を満たし、計 24 単位以上を修得 ・必修科目 9 単位を修得 ・選択科目 15 単位以上を修得 ただし ・「人間」「社会」「自然」の 3 分野からそれぞれ 1 科目以上修得
③	専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位以上を修得 ・必修科目 36 単位を修得 ・選択科目は、以下の要件を含み計 42 単位以上を修得 ・『経営系基礎科目』の 5 科目から 4 単位以上を修得 ・『情報系専門科目』から 24 単位以上を修得

3. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、定められたコンピテンシーを身に付け、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（経営情報学）」を授与します。



別表1 システム情報学科 人材像とコンピテンシー(共通教育)

学科名	共通教育科目
①人材像	
(a)	物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材
(b)	情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材
(c)	異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材
(d)	市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材
②コンピテンシー	
A	学問の方法と論理的思考力を身に付け、問題解決に生かすことができる。
B	得られた情報を批判的に分析し、自己の考えを構築・表現することができる。
C	人類の歴史や文化の多様性を認め、その担い手としての自覚をもつことができる。
D	様々な意見をもつ人々とのコミュニケーションの重要性を自覚し、社会活動への展望をもつことができる。

別表2 システム情報学科 人材像とコンピテンシー(専門教育)

学科名	システム情報学科 システムエンジニアコース
①人材像	
(a)	ネットワーク、セキュリティ、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人
②コンピテンシー	
C1	コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。
C2	ソフトウェア開発技術を使った情報システム開発の一端を担うことができる。

学科名	システム情報学科 情報科学コース
①人材像	
(a)	人工知能、機械学習、データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人材。
②コンピテンシー	
C1	コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。
C3	コンピュータサイエンスに関する基礎知識を使って、ビッグデータなどを分析し、適切な解決案を提案できる。
C4	経営分野の知識やICT(情報通信技術)を使って、様々な課題に対する問題解決案を提案できる。

学科名	システム情報学科 宇宙情報システムコース
①人材像	
(a)	宇宙開発や宇宙情報利用およびそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人材。
②コンピテンシー	
C1	コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。
C2	ソフトウェア開発技術を使った情報システム開発の一端を担うことができる。
C5	宇宙科学の基礎的な知識について簡単に説明できる。
C6	高品質・高信頼性ソフトウェア開発に関する基礎知識を体系的に説明できる。

学科名	システム情報学科 共通
①人材像	
(a)	学ぶ意義を理解できる人材。
(b)	情報技術を利活用し、専門知識(システムエンジニア、情報科学、宇宙情報に関する知識)を生かして、課題を発見し解決できる人材。
(c)	自分の考えや提案内容をわかりやすく説明できる人材。
(d)	グループで議論や活動ができる人材。
②コンピテンシー	
C10	対象領域に関する基礎的な知識について簡単に説明できる
C11	システム情報学科で学ぶ意義を自分なりに説明できる。
C12	自分で課題を発見することができる。
C13	与えられた課題に対し、問題点を見極め、解決に必要な知識や技術を修得し、課題の対処策や解決策を実行できる。
C14	与えられた課題について、調査、考察し、論理的にかつ分かりやすく説明し、また、文書化することができる。
C15	自分で調査・考察したことや対処策や解決策について、議論することができる。
C16	自己表現と協調性をバランスよく発揮できる。

学科名	システム情報学科 教職
①人材像	
(a)	情報や数学において教員として従事できる人材。
②コンピテンシー	
C21	教職(情報)に必要な専門知識について簡単に説明できる。
C22	教職(数学)に必要な専門知識について簡単に説明できる。

## 医療情報学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報化社会の中で正確に情報を見極める基礎能力を養い、国際的な視野と見識をもった人材を涵養するとともに、専門性の高い医学・医療情報の知識、実践的な高度情報処理や生命維持管理に関する技術を修得し、社会においても活躍できる人材を育成します。

## 医療情報学部 医療情報学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 1. 育成すべき人材像とコンピテンシー

情報化社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材を育成するとともに、幅広い教養、専門性の高い医学・診療情報、高度医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理に関する知識および技術を修得し、国際社会においても活躍できる人材を育成します。

#### ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理を学び社会に還元できる人材。

#### ② IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・専門的医学知識や医療情報システムを基盤として情報処理技術を活用して、診療情報や医療情報管理・運営ができる人材。
- ・食に関する専門的知識、健康情報を管理・分析ができヘルスリテラシーを推進できる人材。
- ・専門的医学知識、高度かつ多様化する医療機器に対応できる基礎的知識を修得し、指導的立場となる臨床工学技術を駆使できる人材。

#### ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ちチームの一員として行動ができる人材。
- ・異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材。

#### ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材。
- ・円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材。

#### ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・幅広い医療分野に直面する問題を見出し、解決するために医療現場における実践的知識および医療資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材。

#### ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵

- ・医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材。
- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

育成すべき人材像とコンピテンシーを別表 1、及び別表 2 に示します。

### 2. 卒業要件

医療情報学科 メディカルヘルスケア専攻

（以下の①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること）

	履修科目	履修単位数
①	基礎教育科目	次の要件を満たし、計 22 単位以上を修得 教養基礎科目について ・必修科目 8 単位を修得 ・「基礎数学 A」又は「基礎数学 B」のいずれか 2 単位を修得 外国語科目について ・必修科目 6 単位を修得 ・選択科目 6 単位以上を修得 ただし ・英語の選択科目 4 単位以上を修得
②	人間教育科目	次の要件を満たし、計 24 単位以上を修得 ・必修科目 9 単位を修得 ・選択科目 15 単位以上を修得 ただし ・「人間」「社会」「自然」の 3 分野からそれぞれ 1 科目以上修得
③	専門教育科目	次の要件を満たすこと ・必修科目 36 単位を修得 ・選択科目 42 単位以上を修得

医療情報学科 臨床工学専攻

(以下の①～③の要件をすべて満たし、合計 139 単位以上を修得していること)

	履修科目	履修単位数
①	基礎教育科目	次の要件を満たし、計 20 単位以上を修得 教養基礎科目について ・必修科目 8 単位を修得 外国語科目について ・必修科目 6 単位を修得 ・選択科目 6 単位以上を修得 ただし ・英語の選択科目 4 単位以上を修得
②	人間教育科目	次の要件を満たし、計 18 単位以上を修得 ・必修科目 16 単位を修得 ・選択科目 2 単位以上を修得 ただし ・必修科目 8 単位を含め「人間」「社会」「自然」の 3 分野からそれぞれ 1 科目以上修得

③	専門教育科目	次の要件を満たすこと ・必修科目 99 単位を修得 ・選択科目 2 単位以上を修得
---	--------	---

### 3. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、定められたコンピテンシーを身に付け、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（医療情報学）」を授与します。

別表1 医療情報学科 人材像とコンピテンシー(共通教育)

学科名	共通教育科目
①人材像	
(a)	物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材
(b)	情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材
(c)	異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材
(d)	市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材
②コンピテンシー	
A	学問の方法と論理的思考力を身に付け、問題解決に生かすことができる。
B	得られた情報を批判的に分析し、自己の考えを構築・表現することができる。
C	人類の歴史や文化の多様性を認め、その担い手としての自覚をもつことができる。
D	様々な意見をもつ人々とのコミュニケーションの重要性を自覚し、社会活動への展望をもつことができる。

別表2 医療情報学科 人材像とコンピテンシー(専門教育)

学科名	医療情報学科 メディカルヘルスケア専攻 診療情報管理コース
①人材像	
(a)	専門的医学知識や医療情報システムを基盤として情報処理技術を活用して、診療情報や医療情報管理・運営ができる人材
(b)	生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報処理を学び社会に還元できる人材
(c)	医療情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材
②コンピテンシー	
A-1	診療情報の管理ができ高度医療事務に対応できる。
A-2	診療情報および医療情報を管理・分析し総合的に活用ができる。
A-3	最新のIT技術を駆使して適切な医療情報システムの構築・運営ができる。

学科名	医療情報学科 メディカルヘルスケア専攻 健康情報科学コース
①人材像	
(a)	食と健康に関する専門的知識、健康情報を管理・分析ができ、ヘルスリテラシー向上を推進できる人材
(b)	生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報処理を学び社会に還元できる人材
(c)	幅広い健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材
②コンピテンシー	
B-1	食品の機能性・安全性、栄養について理解し、情報技術を医療および健康分野へ応用できる。
B-2	バイオインフォマティクスの基礎知識を理解し、情報技術を医療および健康分野へ応用できる。
B-3	ICT技術を用いて健康情報の処理・管理を実践し、ヘルスリテラシー向上に貢献できる。

学科名	医療情報学科 臨床工学専攻 臨床工学技士コース
①人材像	
(a)	専門的医学知識、高度かつ多様化する医療機器に対応できる基礎的知識を修得し、指導的立場となる臨床工学技術を駆使できる人材
(b)	生涯にわたり最新の生命維持管理を学び社会に還元できる人材
(c)	医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材
②コンピテンシー	
C-1	臨床工学技士に必要な基礎的な医学知識や臨床医学に関する知識を応用できる。
C-2	臨床工学技士に必要な基礎的な工学的知識を理解し、生命維持装置や医療計測・治療機器の保守管理を安全に行うことができる能力に加え、IT技術を基盤とした医療情報技術を実践できる。
C-3	医療機関におけるマネジメントに関する知識や、患者の健康維持に必要な食品・栄養に関する知識を有しており、患者や他の職種との円滑なコミュニケーションをとることができ、医療の高度化に貢献できる。



## 情報メディア学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

幅広い教養を備え主体的に活躍できるデジタルコンテンツのクリエイターや ICT（情報通信技術）のエンジニアを育成します。

## 情報メディア学部 情報メディア学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 1. 育成すべき人材像とコンピテンシー

情報化社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材を育成するとともに、映像、アニメ、3DCG、グラフィック、感性、ウェブ、ネットワークなど、新しい時代の中核となる技術をもとに、デザインとテクノロジーを融合したビジネスやデジタルコンテンツを創造し得る人材を育成します。

#### ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材。

#### ② IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・ICT を積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人材。
- ・ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人材。
- ・映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを処理できる人材。
- ・IoT（モノのインターネット）やゲームプログラムの開発に従事できる人材。
- ・ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人材。
- ・ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得した人材。

#### ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材。
- ・社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人材。

#### ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材。
- ・高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人材。

#### ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・ビジネス、デジタルコンテンツ等の発想力・企画力・計画力・実行力・評価力を備える人材。

#### ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵

- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

育成すべき人材像とコンピテンシーを別表 1、及び別表 2 に示します。

2. 卒業要件（以下の①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること）

履修科目		履修単位数
①	基礎教育科目	次の要件を満たし、計 22 単位以上を修得 教養基礎科目について ・必修科目 8 単位を修得 ・「基礎数学 A」又は「基礎数学 B」のいずれか 2 単位を修得 外国語科目について ・必修科目 6 単位を修得 ・選択科目 6 単位以上を修得 ただし ・英語の選択科目 4 単位以上を修得
②	人間教育科目	次の要件を満たし、計 24 単位以上を修得 ・必修科目 9 単位を修得 ・選択科目 15 単位以上を修得 ただし ・「人間」「社会」「自然」の 3 分野からそれぞれ 1 科目以上修得
③	専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位以上を修得 ・必修科目 8 単位を修得 ・選択科目は、以下の要件を含み計 70 単位以上を修得 ・共通基礎選択必修科目群から 7 単位以上を修得 ・『テクノロジー系基礎科目選択必修科目群』および『デザイン系基礎科目選択必修科目群』から 10 単位以上を修得

3. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、定められたコンピテンシーを身に付け、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（情報メディア学）」を授与します。

別表1 情報メディア学科 人材像とコンピテンシー(共通教育)

学科名	共通教育科目
①人材像	
(a)	物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材
(b)	情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材
(c)	異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材
(d)	市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材
②コンピテンシー	
A	学問の方法と論理的思考力を身に付け、問題解決に生かすことができる。
B	得られた情報を批判的に分析し、自己の考えを構築・表現することができる。
C	人類の歴史や文化の多様性を認め、その担い手としての自覚をもつことができる。
D	様々な意見をもつ人々とのコミュニケーションの重要性を自覚し、社会活動への展望をもつことができる。

別表2 情報メディア学科 人材像とコンピテンシー(専門教育)

学科名	情報メディア学科 メディアデザイン専攻
①人材像	
(a)	自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材 対応コンピテンシー A,C,G
(b)	ICTを積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人材 対応コンピテンシー B,E
(c)	ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人材 対応コンピテンシー D,E
(d)	ビジネス、デジタルコンテンツ等の発想力・企画力・計画力・実行力・評価力を備える人材 対応コンピテンシー B,E,F
(e)	高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人材 対応コンピテンシー C,G
(f)	社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人材 対応コンピテンシー F
②コンピテンシー	
A	創造力・企画力・計画力・実行力を備えるコンピテンシー
A-1	コンテンツをアイデアから発想し、企画としてまとめられる。
A-2	コンテンツをつくるためのプロセスを理解し、スケジューリングできる。
A-3	コンテンツ制作にあたり、進捗を計りながら、最後まで作り上げることができる。
B	問題解決のためのデザイン提案力を持つコンピテンシー
B-1	ある事象を論理的に分析し、問題点を明確にできる。
B-2	ICTを活用し、問題解決に必要な情報を収集し、取捨選択できる。
B-3	問題解決のために複数の解決策を考案でき、最適な解決策を提案できる。
C	高度なコミュニケーション能力を備えるコンピテンシー
C-1	自分のアイデア・企画を他者に明快に説明できる。
C-2	他者のアイデア・意見を理解し、建設的に討論できる。
C-3	ICTを活用し、企画や成果物をプレゼンテーションできる。
C-4	国際的なコミュニケーションができる基礎的英語力をもつ。
D	専門技術を持ち、実践的に活用できるコンピテンシー
D-1	制作に関する基礎的な知識と制作スキルをもつ。
D-2	主となる専門分野を持ち、その技術を用いてコンテンツを制作できる。
D-3	制作分野において最適なハードウェア、ソフトウェアを選択し、活用できる。
D-4	画像、映像、音声、文章をもちいた統合的なコンテンツを個人またはチームで制作できる。
D-5	制作したコンテンツをビジネス的な視点でプロデュースできる。
E	ICTをコンテンツ制作に活用できるコンピテンシー
E-1	ICTの原理を理解し、制作技術を工学的に説明できる。
E-2	広くICTに関する基礎知識を持ち、制作に組み合わせることができる。
E-3	コンテンツ制作に関する最先端の情報を説明できると共にその可能性について意見を持てる。
F	社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できるコンピテンシー
F-1	日本、あるいは国際社会における歴史的背景、文化的価値観を理解できる。
F-2	コンテンツ制作やICTが社会、自然、文化に与える影響を理解し、ICTクリエイティブ人材としての倫理観をもつ。
G	チームワークを得意とするコンピテンシー
G-1	目的達成のためにチームに積極的に参加し、互いに協力することができる。
G-2	リーダーシップを発揮し、ヒト・モノ・時間をマネジメントできる。
G-3	チーム内で役割を分担し、それぞれの責務をまっとうできる。
G-4	問題が起きた場合でも前向きに問題解決にあたり、相互に協調できる。

学科名	情報メディア学科 メディアテクノロジー専攻
①人材像	
(a)	自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材 対応コンピテンシー A,E
(b)	映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを処理できる人材 対応コンピテンシー A,B,C,E
(c)	IoT(モノのインターネット)やゲームプログラムの開発に従事できる人材 対応コンピテンシー A,B,C,E
(d)	ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人材 対応コンピテンシー A,B,D,E
(e)	ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得した人材 対応コンピテンシー A,B,D,E
②コンピテンシー	
A	変化するICT社会を生きる市民としてのコンピテンシー
A-1	コンピュータシステム(ハードウェア、基本ソフトウェア)について理解し、基本的な動作原理を説明できる。
A-2	コンピュータシステム(ハードウェア、基本ソフトウェア)を活用するための基本操作ができる。
B	システムエンジニア、プログラマーとしてのコンピテンシー
B-1	問題をモデル化し、数理的、図形的な取扱ができる。
B-2	問題解決のプロセスをプログラム化(設計)することができる。
B-3	問題解決のための必要な手段として適切なツールを選択、駆使できる。
B-4	問題解決のための必要な手段として適切なハードウェアを選択、駆使できる。
B-5	問題解決のための必要な手段として適切なアプリケーションを選択、駆使できる。
C	各種メディア処理に関わる技術者としてのコンピテンシー
C-1	画像データに対する処理(加工、配信、蓄積)技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-2	2DCG、3DCGデータに対する処理(加工、配信、蓄積)技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-3	音声データに対する処理(加工、配信、蓄積)技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-4	映像データに対する処理(加工、配信、蓄積)技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-5	コンピュータの様々な機能(グラフィックスやサウンド)を組み合わせ活用するソフトウェアを作成できる。
D	Web、ネットワーク系技術者としてのコンピテンシー
D-1	ネットワーク通信機能を備えたソフトウェアを作成できる。
D-2	小規模オフィスにLAN環境を構築できる。
D-3	セキュリティを考慮したWebサイトを構築できる。
E	実践的な技術者としてのコンピテンシー
E-1	共同作業を通して、適正なコミュニケーションを行える。
E-2	ICTを有効に活用しながら、効果的なプレゼンテーションを行える。
E-3	進化する情報技術に関心を持って学習し、その特性を説明できると共に、その可能性について意見を持てる。
E-4	情報技術や情報処理技術者の役割を理解し、進化する情報社会に参画するために実践力を高めようとする意欲を持てる。
E-5	情報技術者倫理の意義を説明できると共に、それに則った行動をとることができる。